



Vol.8
中学生版

平成19年6月発行
発行/愛知県教育委員会

特集 あいちの教育をみんなの手で CONTENTS

- 一人一人のニーズに対応した教育を行います～特別支援教育～
- 高校奨学金の予約希望者募集
- 平成20年春の入試からここが変わります
- 「ストップ・ザ・ファースト無事故・無違反ラリー2007」にチャレンジ!
- じょうずにインターネットを利用するために
- 愛知県警察本部から～愛知県万引防止対策協議会を設立～
- 我が家の取組(食育) ●24時間いじめの悩み電話相談 他

タイトルの趣旨
「パレット」には、本広報紙を絵の具をのせるパレットにみたてて、教育情報を発信し、家庭・地域・学校が一体となって、大きなキャンパスに子どもの未来を描きたいという願いが込められています。

一人一人のニーズに対応した教育を行います

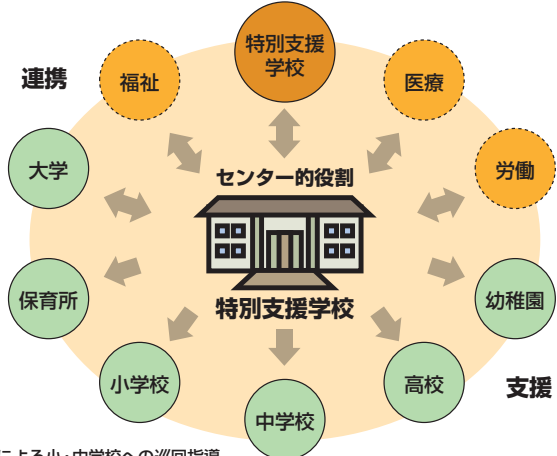
特別支援教育

一人一人の状態に応じて、その持てる力を高め、自立を図ります

これまで、障害のある子どもの教育は、障害の種類や程度に応じて、盲・聾・養護学校や特殊学級で行われてきました。特別支援教育では、従来対象としてきた障害だけではなく、LD、ADHD、高機能自閉症等を含め、教育上特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行い、生活や学習上の困難を克服して、子どもたちが自立と社会参加することをめざします。

「学校教育法等の一部を改正する法律」が、この4月1日から施行され、盲学校、聾学校及び養護学校が特別支援学校に、特殊学級が特別支援学級になりました。

特別支援学校は、関係機関との連携・協力を強め、その専門性を生かして小・中学校等への支援を行うなど、地域の特別支援教育のセンター的役割を担います。(右図)



特別支援教育を
推進します
(H19県施策)

- 1 特別支援教育体制推進事業(継続)
●特別支援教育連携協議会の設置 ●教員研修の充実 ●専門家チームによる小・中学校への巡回指導
- 2 特別支援教育コーディネーターの配置(新規)
特別支援学校に順次配置し、在籍児童生徒等への教育的ニーズに応じた指導の充実や地域の特別支援教育のセンター的機能の充実に努めます。
- 3 特別支援教育指導員の配置(新規)
教育事務所に順次配置し、市町村教育委員会への指導助言や小・中学校への支援等を行い、特別支援教育の体制整備・充実に努めます。

ノーマライゼーションの理念の実現をめざします



早くみんなで
食べたいね。

武豊町立武豊中学校
特別支援学級 共同学習

総合的な学習の時間の「出前授業」の様子です。同級生や学校ボランティアのみなさんと一緒に、楽しく学習しています。「そば打ち」では、目を輝かせて取り組みました。



ほらっ、こうやってね。

愛知県立佐織養護学校

地域の中学生と一緒にゲームを作って遊ぶ「創作交流」です。友だちと一緒に色紙を折って賞品も作りました。ポウリングやもぐらたたきゲーム等、いろいろなゲームをみんなで楽しみました。

地域で、学校で、みんなできいっしょに



地域のために
僕らにできること

愛知県立名古屋養護学校

地域との連携を目指して「心をつなぐ学校づくり」推進事業を行いました。奉仕活動として自分たちが育てた花の咲いたプランターを地域の郵便局、駅、施設に送り、美化活動に協力しました。



鬼さん、こちら!

愛知県立半田養護学校
桃花校舎

桃陵高校の生徒と一緒に行った「スポーツ交流会」の一角です。大府市体育館で両校生徒が協力し合い、和やかな雰囲気の中で、さまざまなゲームをブロック対抗戦で行いました。これが契機となり、交流の幅が広がりました。

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症等の発達障害は、主に中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されており、家庭、学校、地域社会などの環境的な要因が直接の原因ではありません。